

第十表

[illegible]

第九表

[illegible]

北陸區	新潟縣 富山縣 石川縣	大正十一年 大正十三年	三 二 一 村	東山區	山梨縣 長野縣 岐阜縣	大正十年、大正十四年 昭和元年、二年 昭和十三年	一町、一村 二村 九村
東海區	靜岡縣	大正十三年	一	近畿區	京都府 大阪府 兵庫縣 奈良縣 和歌山縣	大正九年、十年、十一年、十二年、十三年、十四年 昭和元年、二年、三年、四年 昭和十四年	一町、二十四村 三町、七村 四村 五村
中國區	鳥取縣	昭和三年	一	四國區	德島縣 香川縣 愛媛縣	昭和三年 昭和四年 昭和十四年	二村 五村
九州區	福岡縣 佐賀縣 長崎縣 大分縣 鹿兒島縣	大正十三年 大正十一年、十二年、十三年、十四年 大正十三年 大正十三年 大正十三年	十五村 六村 一町、十村 一村	沖繩區	沖繩縣	大正十五年	一
朝鮮區	全羅北海	大正十三年	一	臺灣區	臺北縣 臺中縣 臺南縣	大正十四年、十五年 大正十一年、十二年 大正十四年	七庄 二庄

此の表を見ると千葉縣の如くに六ヶ町、二十八ヶ村に亘り検査人員九八、八五七名に上る成績もあり、又、岩手、秋田の兩縣の如く僅かに各村、即ち、検査人員、岩手の一、七五一名、秋田の一三五五名のやうに僅少な成績を回答せられたのもあつて、此の成績を見たのみでは其の縣の寄生蟲感染状況を確かに掴むことは出来ないが、今は兎も角此の統計成績に依つて大要を窺ふこととする。而して植民地（臺灣、朝鮮）は種々事情を異にする點があるから、別表とし、此の集計から除いた。

二、寄生蟲有卵率

第一表に依り寄生蟲有卵率を見る。

最高率を示すものは沖繩縣で検査人員二、九九七名中の有卵率九七・七％で、之れに次ぐは四國區の検査人員一六、四四七名中の有卵率九〇・〇％である。最低は關東區で其の検査人員は一六三、五〇九名で其の有卵率は六〇・〇％である。之れに次ぐ低率は東山區の検査人員一三、九七七名中の有卵率六五・四％である。之れを縣別に見ると沖繩は前述の如くに最高率を占め次は九州區の長崎縣（検査人員三九、〇六七）で九二・七％次は四國區の德島縣（検査人員三三、〇七）で九二・五％長崎に略等しい、之を以て見れば四國區、九州區は氣候、風土の關係上寄生蟲の感染が濃厚であると推知される。

最低率は關東區の千葉縣で（検査人員九八、八五七）四八・二％、次は東山區の岐阜縣で（検査人員一〇、一一一）六三・一％を示す。

（第一表 参照）

三、蛔蟲有卵率

蛔蟲有卵率は沖繩縣の九二・八％が高率で之に次ぐは四國區の七九・五％である。最低率を示すものは關東區の四九・四％で之に次いで低いのは東山區の五七・八％である。

縣別に見れば沖繩縣の最高率を占めてゐるのは前述の通りで之に次ぐのは德島縣（四國區）の八七・一％其の次ぎは奈良縣（近畿區）の八五・七％である。

又最低率を示すものは千葉縣（關東區）の三九・三％で之れに次ぐは富山縣（北陸區）の四六・五％である。

四、十二指腸蟲

十二指腸蟲は沖繩縣の五三・一％が著しい高率で之に次ぐは九州區の四二・六％である、最低率を示すものは東山區の四・五％之れに次ぐは中國區の七・〇％である。

縣別に見れば最高率は等しく沖繩縣であるが之に次いで福岡縣（九州區）の五一・三％、之に次いで、佐賀縣（九州區）の四六・二％である。

最低は青森縣（東北區）の〇・三％及和歌山縣（近畿區）の〇・三％である。

五、東洋毛線蟲、其の他

東洋毛線蟲は新潟縣（北陸區）の一五・八％が最も高率で之に次ぐものは山梨縣（東山區）の三・三％である。岩手、富山、靜岡、京都、奈良、和歌山、各縣にはその事實なく、而して最低率は鹿兒島縣（九州區）の〇・〇四％である。

而して第一表に見る如く青森縣其他十四縣にはこの事實の報告なし。

卑縣（東山區）の四・八％である。

肝臓「ヂストマ」は新潟縣（北陸區）には三・四％を見肺臓「ヂストマ」は徳島縣に〇・六％を見る。

蟬蛻は長陽縣（九州區）の四・四％が最高である。日本佳血吸蟲は山梨縣（東山區）に就て〇・五％を見、福岡縣（九州區）に於て一・一％ある。

九州區にのみ計二六〇名の回答があつて他の府縣には回答が見えなかつた、これは他區に於ては「其の他」と云ふ欄に合計して入れられてゐるのであらうかと思はれる。(第一表 参照)

第一表

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

總計	計	區				州			
		計	鹿兒島縣		計	大分縣		長崎縣	
			女	男		女	男	女	男
八	三	五			五	二	四	三	七
〇	〇	〇			〇	〇	〇	〇	〇
三	一	〇			三	一	〇	三	三
五	八	〇			五	二	〇	〇	〇
〇	〇	〇			〇	〇	〇	〇	〇
一	〇	〇			一	〇	〇	〇	〇
二	九	二			二	八	三	四	一
〇	〇	〇			〇	〇	〇	〇	〇
四	〇	〇			四	〇	〇	〇	〇
五	三	二			五	三	二	五	三
〇	〇	〇			〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇			〇	〇	〇	〇	〇
一	二	二			一	二	二	一	二
〇	〇	〇			〇	〇	〇	〇	〇
一	〇	〇			一	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇			〇	〇	〇	〇	〇
二	七	四			二	七	四	七	五
〇	〇	〇			〇	〇	〇	〇	〇
三	六	八			三	六	八	三	六
〇	〇	〇			〇	〇	〇	〇	〇
一	〇	〇			一	〇	〇	〇	〇
二	二	二			二	二	二	二	二
〇	〇	〇			〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇			〇	〇	〇	〇	〇
三	二	六			三	二	六	三	六
〇	〇	〇			〇	〇	〇	〇	〇
三	三	九			三	三	九	三	三
〇	〇	〇			〇	〇	〇	〇	〇
一	〇	〇			一	〇	〇	〇	〇

四四

六、體性別、年齡別寄生蟲

第一表に統計した二十八縣、三八七、七四〇名の検査人員に就て體性別年齡別に寄生蟲検査成績を考察したいと思ふ。

(1) 寄生蟲有卵率

體性別に之を見ると其の平均は男七三・九%、女七四・四%で女の方が僅かに高率である。而して其の平均率は七四・三%となる。
 年齡別に之を見ると六歳以上十歳未満に至る年齡階級が男七八・三%、女七七・六%で最も高率を占めてゐる。
 最低率は一歳以上五歳未満の年齡階級の者が男六〇・三%、女六〇・二%で略等しき成績を示す。十一歳以上に至れば八十歳未満に至るまで其の有卵率は七一%以上七七%を示してゐる。而して體性別に見ると二十歳以上高年齢に至るまで總ての年齡階級に於て女の方が幾分高率である。
 七十歳以上に至ると其率は約七〇%より六〇%内外に降つてゐる。

(2) 蛔蟲有卵率

蛔蟲の有卵率は總平均に於ては男が六二・六%女が六四・八%で女の方が高率である。
 各年齡別に見れば最高率は六歳以上一〇歳未満の年齡階級であつて男は七二・四%、女は七一・六%を示してゐる。

次は一歳以上一五歳未満の年齡階級で男は六九・三%女は六八・二%を示してゐる。

最低率を示すものは一歳以上五歳未満の年齡階級で男五五・二%、女五五・五%で略その率は等しい。

十六歳以上になると八十歳の高年齢に至るまで其の率は餘り變りなく、約六〇%から六五%を上下してゐる。

而して女の方で總て幾分率の高いのは注意すべきことである。八十歳以上の高年齢に至ればその率は五〇%内外に降つてゐる。

(3) 十二指腸蟲有卵率

十二指腸蟲有卵率の平均は男二一・一%、女は稍低く二〇・三%を示してゐる。最も低率なのは一歳より五歳未満の年齡階級で各六・〇%を示すそれより二十歳に至る間に漸次其の率を増加し、二十一歳以上七十歳の老年期に至る間に於ては二五%、乃至、二八%の率を示してゐる。年齢二十五歳以上では總て男の方に於て高率を示してゐる。これは農村に於ける生活状態が男に於て經膈的感染の機會が多いのではなからうかと思はれる。

八〇歳以上の高年齢では漸くその率は低下し、男は一九・九%、女は一六・七%を示してゐる。

(4) 東洋毛線蟲其の他

東洋毛線蟲は平均率では男一・六%、女は一・五%を示してゐる。

最低率は五歳未満で男は〇・五%女は〇・四%であつて六歳以上は漸次其率は高まり三歳以上、六〇歳までの年齡階級に於て男、女、各、約二%を示してゐる。

横川吸蟲は、平均、男、〇・七%、女は〇・四%の少數であるが二歳以上五歳未満の青壯年期では男に於ては約一・〇%の有卵率を示してゐる。

女に於ては僅々〇・五%内外に過ぎない。

鞭蟲は平均、男三二・%女、三一・九%で男女が略等しい、年齡別に之を見れば五歳未満に於て男二〇・〇%女、一七・一%であるが、六歳以上に至れば八十歳未満の高年齢に至るまで各年齡階級何れも三〇・〇%乃至三五%を示してゐる。而して、男女に於て餘り差を認めない。

蟯蟲は平均、男〇・五%、女〇・六%で各年齡に於て大差を認めないが十五歳以上では大體女の方に於て其の率が高い。

(第二表 参照)

(1) 臺灣

[illegible]

四八

第三表は臺南、臺中、臺北、の回答を集録した統計である。其の検査人員は男一九、七五八名女、一九、三一六名、計三九、〇七四名である。

餘程高いのである。氣候風土の關係も其の一因であらうが、又衛生状態の良好でないことも影響してゐるのではない。十二指腸蟲有卵率は三八・七%を示し總て内地一般住民の寄生蟲有卵率平均よりも

第三表

[illegible]

(2) 朝鮮

朝鮮一般住民の寄生蟲検査成績は全羅北道の朝鮮人三、二八一名、同地在住の内地人二九三名の事實に就て回答を得たのみである。

先づ朝鮮一般住民の成績を見るに其の有卵率は六六・五%、蛔蟲有卵率は三七%、十二指腸蟲有卵率は四・九%で總て内地の一般住民寄生蟲検査成績よりも低率である。之れ明かに氣候風土の關係と見るの外はない。

然るに肝臓「デストマ」のみは男二八・七％、女、一八・一％平均、二三・七％で非常に高率である。何か特殊の原因があるに相違ないと思ふ。(第
四表参照)

第四表

年 別 要 項		一般住民體性別及年齡別寄生蟲卵檢査成績		朝鮮全羅北道在住 朝鮮人	
		(檢査後驅除ヲ施行セザルモノ)			
性	年齢	檢査人員	無卵者人員	有卵者人員	有卵者百分比
		人員	人員	人員	百分比
女	一六	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	一五	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	一四	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	一三	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	一二	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	一一	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	九	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	八	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	七	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	六	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	五	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	四	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	三	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	二	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	一	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	一六	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	一五	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	一四	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	一三	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	一二	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	一一	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	九	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	八	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	七	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	六	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	五	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	四	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	三	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	二	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	一	一〇	一〇	一〇	一〇〇
合 計		一〇	一〇	一〇	一〇〇

第五表

朝鮮全羅北道の在住の内地人二九三名に就て見れば其の有卵率は五〇・八％、蛔蟲は一七・四％で朝鮮人よりも著しく低率であるが十二指腸蟲有卵率は一四・四％で、肝臓「ヂストマ」も亦二七・七％の高率を示し朝鮮人よりも感染が濃厚である。(第五表参照)

一般住民體性別及年齡別寄生蟲卵檢査成績
(檢査後驅除ヲ施行セザルモノ)

朝鮮全羅北道在住 内地人

年 別 要 項		一般住民體性別及年齡別寄生蟲卵檢査成績		朝鮮全羅北道在住 内地人	
		(檢査後驅除ヲ施行セザルモノ)			
性	年齢	檢査人員	無卵者人員	有卵者人員	有卵者百分比
		人員	人員	人員	百分比
女	一六	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	一五	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	一四	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	一三	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	一二	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	一一	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	九	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	八	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	七	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	六	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	五	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	四	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	三	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	二	一〇	一〇	一〇	一〇〇
女	一	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	一六	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	一五	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	一四	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	一三	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	一二	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	一一	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	九	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	八	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	七	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	六	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	五	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	四	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	三	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	二	一〇	一〇	一〇	一〇〇
男	一	一〇	一〇	一〇	一〇〇
合 計		一〇	一〇	一〇	一〇〇

[illegible]

一、廳府縣の回答に就て

本縣より各府縣に對し、小學校兒童の寄生蟲検査成績を照會し得た回答は、一道二府三十縣、及朝鮮、臺灣の二植民地よりである。學校數は明記されてゐない縣が多いので、之を知ることが出来ないが、検査人員總計内地人に於ては男は一八五、五八二名女は一八三、六七二名計三六九、二五四名に上る、而して、植民地では其の検査人員臺灣、五三、五九四名、朝鮮三五、五四一名である。

今、回答せし各府縣を上ぐれば左表の如くである。

關東區			東北區				區別
栃木縣			福島縣 宮城縣 青森縣			北海道	廳府縣名
			昭和二年			昭和二、三年	檢查施行年度
			一校				施行學校數
東山區			北陸區				區別
岐阜縣 長野縣 山梨縣			石川縣 富山縣 新潟縣				廳府縣名
昭和三年			大正八年、九年、十年、十一年、十二年、昭和二年、三年				檢查施行年度
							施行學校數

即ち此の表に於て見るやうに僅かに一校四四二名を調査した事實に止まるものもあり、又、數年に亘つて二十校四、五四六名の多數を調査して得たる平均もありて、之を以て各道府縣の寄生蟲蔓延の狀況を確實に攬むといふことは困難である。

然し、今暫之を以て該廳府縣に於ける寄生蟲感染狀況を窺ふこととする。而して植民地は種々事情を異にするから一般集計からは之を除き別表として説明した。

二、寄生蟲有卵率

第一表を見るに其の有卵率は四國區が最高率で検査人員九、〇六五名で其の有卵率七九・三％を示す、次は九州區で検査人員四九、二三四名其有卵率は七七・一％である。一般住民の有卵率も四國區が最高率で九州區が之に次ぐことは以前第一項に於て述べた通りである。

最も低率なのは北海道區の検査人員三五、五二三名に對する有卵率二一・九%で之れに次ぐは中國區の検査人員二一、三四三名に對する有卵率三七・九%である。一般住民の寄生蟲、有卵率も北海道の低率なることは内務省保健調査の際に於ける成績で明らかである。中國區は一般住民の成績に比して著しく低率である。之を縣別に見ると最高率を占めるのは山梨縣で其の検査人員は三七〇名で有卵率は九七・四%である。之に次ぐものは愛媛縣の検査人員五、八三八名で其の有卵率は九二・三%である。

[illegible]

蚶蟲有卵率は平均に於ては四國區の六七・六%が最高率で九州區の六五・九%が之に次ぐ。一般住民の蚶蟲有卵率も亦四國區、九州區に於て高率であるのは前項で述べた所である。

最低率は東海區の三〇・四％に次ぐは中國區の三一・五％である。

縣別に見れば山梨縣の九四・六％（一般住民、六九・一％）が最高率で之に次ぐものは長崎縣の八九・二％、（一般住民八三・七％）最低率は北海道の二一・九％で次は岐阜縣の三〇・％（一般住民五六・二％）である。

十二指腸有卵率の最高は四國區の一八・〇％之に次ぐは九州區の一六・六％である。一般住民の寄生蟲検査に於ても四國區及九州區は十二指腸蟲の感染率が濃厚であることは前項に述べた所である。縣別に之れを見るに宮城縣が、検査人員四五〇名、で十二指腸蟲有卵率は三七・一％で最高率を占めてゐる、一般住民の十二指腸蟲有卵率は六・三％(各府縣より内務省へ報告せしもの)である。又同縣の中學校生徒の成績も九・七％である、之れ等に比して、小學校兒童のこの有卵率は著しく高率のやうに思はれる。恐らく之は同縣中十二指腸蟲感染の最も濃厚なる地方の小學校を調査した成績であらう。

宮城縣に於いて十二指腸蟲有卵率の高いのは愛知縣の二六・二%（一般住民三七・四%）である。

最但率は北海道及青森縣である、而して岐阜縣、高知縣には其の事實が回答されて居ない。

五、東洋毛線蟲、その他

東洋毛蠶繅は新潟縣に一〇・一％を認めてゐるのが最高である、新潟縣は一般住民に於ても全國最高率を占めてゐることは前述の如くである。横川吸蠶は九州區の大分縣に於ける三・七％が最高率で次は四國區の愛媛縣に於て一・四％を示してゐる。

は一・〇%を、又東北區、東海區では〇・一%或はそれ以下を認めてゐる。鞭蟲は四國區の五一・七%が最高率で之に次ぐものは北陸區の四二・三%である。最低率は東海區の二・九%である。而して北海道にはその事實の回答なし。縣別に見れば愛媛縣の七六・%が最高率で之に次ぐものは五九・六%である。而して北海道及長野縣、岐阜縣にはその事實が報告されてゐない。(第一表参照)

今、總平均率を一般住民の總平均率に比べれば左の如くである

備考 總テ本縣ヨリ各府縣ヘ照會シテ得タル回答ニヨリ統計シタルモノデアル

小學校兒童寄生蟲檢查成績

五五



[illegible][illegible]

[illegible]

區 山 東			區 陸 北			區 東 關			區 北 東			道 海 北		
岐 阜 縣	長 野 縣	山 梨 縣	計	石 川 縣	富 山 縣	新 潟 縣	計	枳 木 縣	計	福 島 縣	宮 城 縣	青 森 縣	計	北 海 道
女 男	女 男	女 男	計 女 男	女 男	女 男	女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	女 男	女 男	女 男	計 女 男	計 女 男
			三 八 三			八 三								
			〇 〇 〇 五 三 七			〇 〇								
							三 〇	三 〇						
							〇 一	〇 一						
							三 〇	三 〇						
							〇 一	〇 一						
							一	一						
							〇 〇 〇 一 〇 〇	〇 〇 〇 一 〇 〇						
							一	一						
							〇 〇 〇 五 〇	〇 〇 〇 五 〇						
			三 四											
			一 二 八 〇											
			六 五 一			五 一								
			〇 〇 〇 〇 〇 一			〇 〇 三								
			三 四 八 一 三 三			一 〇 五								
			〇 〇 〇 〇 〇 六			〇 〇 八								
						〇 一 九								
						〇 〇 八								

者 有 卵	デ 肝 ス ト マ 腺	者 有 卵	無 鈎 條 蟲	者 有 卵	萎 小 條 蟲	者 有 卵	頭 頸 節 裂	者 有 卵	肥 大 吸 蟲	者 有 卵	鉛 形 吸 蟲	者 有 卵	日 本 住 血 蟲	者 有 卵	イ ー ト ロ フ	者 有 卵	ス ト ロ ン グ ロ イ デ ム ス リ コ ラ ー リ ス	者 有 卵	ヒ メ ノ レ ー イ ミ ス ー タ	其	他

國 全		區 州 九										區		
總 計	計		計		鹿 兒 島 縣	宮 崎 縣	大 分 縣	熊 本 縣	長 崎 縣	佐 賀 縣	福 岡 縣	計		高 知 縣
	女	男	計	女男								女男	女男	
1,474	545	1,110	2,636	3,111			333	444	144			333	333	
0.02	0.01	0.02	0.11	0.11			0.04	0.11	0.11			0.03	0.03	
22	11	33	22	22			1		2					
0.01	0.01	0.01	0.003	0.003			0.00		0.02					
22	11	33												
0.01	0.01	0.01												
			1	1					1					
110.0000		0.001	0.002	0.001					0.01					
1.0.0001		1.0.0001												
1.0.0001		1.0.0001	1	1					1					
1.0.0001		1.0.0001	0.002	0.001					0.01					
126	55	221	221	221					72	22	22			
0.01	0.01	0.02	0.11	0.11					0.03	0.04	1.27			
33	10	33	33	33		22		22	12					
0.004	0.003	0.01	0.11	0.11		0.11		0.11	0.11					
1.0.0001	1.0.0001		1	1				1	0.01					
22	22	1.0.0001												
0.001	0.001													
22	12	22	22	22							22			
0.1	0.1	0.1	0.1	0.1							0.1			

六、植民地小學校兒童の寄生蟲

(1) 臺 灣

第二表に就て見るに検査人員五三、五九四名中有卵者四四、三四七名その率八二・七%を示してゐる、蛔蟲有卵率は七七・八%十二指腸蟲有卵率は一三・八%で何れも該地の一般住民の寄生蟲検査成績よりも低率であるが、内地の小學校のものよりも總て高率である。十二指腸蟲、鞭蟲の如きは内地小學校兒童の有卵率よりも各約三倍の高率を示してゐる。(第二表参照)

第二表

[illegible]

有卵率九二・九％である。次は本縣の検査人員一六二名に對する百分率七七・二％である。最も低率を示してゐるのは山口縣で検査人員二、二四七名中の有卵率一七・八％、之に次いで北海道の検査人員三、二六九名中の有卵率二八・八％である。

蛔蟲有卵者に就て之を見ると平均は三一・八％で、最高率は長野縣の五二・％、之に次いで香川縣の五一・四％である。低率を示すものは山口縣の一三・六％に次ぐ兵庫縣の農學校の一七・五％である。

十二指腸蟲有卵者は平均に於ては五・一％である。最高率は同じく長野縣が之を占め、二三・一％である。次に兵庫縣の農學校の一七・五％であつて最低率は大阪の商業學校の〇・三％で、之に次ぐは香川縣の二・一％である。 (第一表参照)

第一表

中等學校生徒寄生蟲検査成績											
検査人員	無卵者	有卵者	同						内		
			蛔蟲	十二指腸蟲	線蟲	東洋毛線蟲	橫川吸蟲	鞭蟲	蟯蟲	肝臓	其ノ他
人員	百分比	人員	百分比	百分比	百分比	百分比	百分比	百分比	百分比	百分比	百分比
兵庫	二二	三三	八五	三三	一七・五	三	一七・五	一	〇・八	七三	二二
兵庫	二二	三三	八五	三三	一七・五	三	一七・五	一	〇・八	七三	二二
大同	一〇・一	五七	四六	四〇	三八	一	〇・三	一	二八	六八	〇・二
大昭和	三三	三六	一〇八	三三	三〇・三	一	二七	一	四〇	三〇	三〇・三
長野	六九	七二	五五	三三	五〇・〇	一	二七	一	二六	七三	七・九
大正	二二	五八	九〇	八三	五九	一	〇・四	一	二六	三二	〇・七
大正一四、一五年	九七	四〇	五七	三三	三八	一	一	一	二六	三二	〇・七
北海	三三	七〇	六八	六二	六八	一	一	一	二六	三二	〇・七
昭和	三三	七〇	六八	六二	六八	一	一	一	二六	三二	〇・七
計	二二	三三	八五	三三	一七・五	三	一七・五	一	〇・八	七三	二二

山	香	佐	計
山口	川	賀	
中等	農	中等	
二、二七	八二	二、〇〇	二、〇〇
一、八七	三九	一、〇〇	一、〇〇
八・三	四八・〇	五・三	五・三
四〇〇	四七	九三	九三
一七・八	五・〇	四八・八	四八・八
三〇五	四三	七六	七六
二六	五・四	八三	八三
一〇・八	二・二	三三	三三
四・八	二・二	二二	二二
五・一	二・二	二二	二二
三	二	三	三
〇・三	〇・一	〇・三	〇・三
七三	一・三	一・三	一・三
一〇・七	一・二	一・二	一・二
七三	八・九	八・九	八・九
三〇	三	三	三
〇・九	〇・二	〇・二	〇・二
一〇・三	一〇・三	一〇・三	一〇・三
一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇
一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇

二、師範學校

各府縣に照會して回答を得たる師範學校の寄生蟲検査成績は一應、六縣に過ぎず、總検査人員は二、七一九名で其の有卵率の平均は六三・四％である。最高は長野縣の検査人員二二六名中の有卵率九四・四％で、之に次ぐは兵庫縣の検査人員二〇三名中の有卵率八九・七％である。而して最低率は北海道の二七・四％でこれ検査人員は六二五名の事實である。

蛔蟲の平均率は四二・二％で最高率を示すものはやはり長野縣で其の率は六〇・四％である。之に次ぐは徳島縣で六〇・九％で北海道は最も低く二七・四％である。十二指腸蟲は平均率一二・九％を示し、最高は之と同じく長野縣で三一・九％を占めてゐる、兵庫縣は之に次ぎ三〇％を示す。北海道は等しく最低率で〇・二である。 (第二表参照)

第二表

師範學校生徒寄生蟲検査成績											
				検査		同					
				人員	無卵者	有卵者	上				
				人員	百分比	人員	百分比	蛔蟲	十二指腸蟲	東洋毛線蟲	內
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比
				人員	百分比	人員	百分比	有卵者	百分比	有卵者	百分比

[illegible]

此の検査人員は中等學校一四、〇八七名師範學校二、七一九名の少數の事實であるから寄生蟲感染につき確實な傾向を掴み得ないが、之を概評すれば中等學校の平均よりも師範學校の平均に於て各蟲卵共に感染率は高率を示すのを見る。これは恐らくは師範學校生徒の多數は農村の出身者が多い爲であらうかと思はれる。

猶、又、中學校、師範學校の寄生蟲検査成績を見るに有卵率はもとより蛔蟲、十二指腸蟲共に長野縣の成績に於て著しい高率を見る。

而して長野縣の一般住民の寄生蟲検査成績を見るに(第十六章、第二節第一項参照)有卵率は六九・五%、蛔蟲は五九・四%、十二指腸蟲は二・三%を示してゐる。

之を以て考へれば長野縣に於ける、中學校、師範學校の寄生蟲調査は該縣に於て最も寄生蟲感染の濃厚なる場所を檢査回答されたものと思はれる。(第一表、第二表參照)

三、高等女學校

高等女學校生徒寄生蟲検査成績を各府縣へ照會し回答を得たるは一廳二府八縣其の検査人員九、七五一名である。平均有卵率を見るに五七・九％である。

之を縣別に見れば徳島縣の検査人員七四九名中有卵率六八・四％が最高率で岩手縣の検査人員八七二名中の有卵率六五％が之に次ぎ、最低率は香川縣の検査人員六七七名中の有卵率九・三％で、次は北海道の二五・八％である。

る。最低は香川縣の八・四％、次は石川縣の検査人員一八九名一〇・一％である。大阪府検査人員七五九名中四一・六％で之に次でぬ。蛔蟲有卵率は總平均では二七・二％である。之も徳島縣に於て最高で四五・七％を占める。

十二指腸蟲有卵者平均は三・二％で最高率は鳥取縣の検査人員五七一名八・六％、で之に次ぐものは山口縣検査人員二、六九六名の六・五％であ

る。最低は北海道検査人員二、一一六名及香川縣の六七七名中各〇・一%である。
(第三表参照)

第三表

[illegible]

四、女子師範學校

女子師範學校の寄生蟲検査成績に就ての回答は七縣に過ぎず。その平均有卵率は七五・五％である。高率を占めるのは長野縣の九三・七％で、低率なのは石川縣の四八・四％である。

蛔蟲有卵者に就て見るに平均率は四五・五%である。最高は奈良縣の六三・五%で、最低は石川縣の一〇・八%である。

十二指腸蟲の有卵者平均率は一五・四％である。縣別に見る時は之も同じく長野縣が最高率を占め二七・五％で、之に次ぐは愛媛縣の二四・九％である。最低は徳島縣の二・七％である。（第四表参照）

第四表

女子師範學校生徒寄生蟲檢査成績

[illegible]

今、高等女學校検査人員九七五一名と女子師範學校検査人員一、七二三名との寄生蟲検査成績を比較すれば各蟲卵共に女子師範學校生徒に於て

總て高率である。之れは男生徒の場合と等しい傾向であつて、その原因と見らるゝものは以前男生徒の場合に述べたる如くである。

之を又、學校別に分類すれば中學校、高等女學校に於て、感染率は總て低率にて師範學校、女子師範學校に於て高率である。(第五表参照)

第五表

中等學校寄生蟲檢查成績

[illegible]

五、朝鮮に於ける中等學校の寄生蟲検査成績

第六表は朝鮮に於ける中等學校の寄生蟲検査成績を集録統計したものであるが、これは内地人と朝鮮人と集まつてゐるものと認められる上、土地の狀況も幾分内地と異なるものと思はれるから此の如く別表として統計したのである。

之れを見るに中等學校は検査人員二、七八一名の事實であるが内地中學校の有卵率四〇・九％に比し六五・九％を示し、又蛔蟲に於ては内地中學校平均三一・八％に比して五〇・三％の高率を示してゐる。

十二指腸蟲は内地中等校五・一％に比し朝鮮は三・六％の低率である。

又、師範學校検査人員二八七名では有卵率も、蛔蟲有卵率も朝鮮の方が總て低率であり、十二指腸蟲有卵者は一名もない。

高等女學校は朝鮮の高等女學校検査人員一、八〇四名の内有卵率も蛔蟲有卵率も高い、唯十二指腸蟲は内地女學校の方が有卵率が高い。

尙第六表を見るに中學校に於ても高等女學校に於ても高等普通學校と名附けられたものゝ生徒に於て、有卵者は元より各蟲卵共に其の保有率が著しく高いのは注意すべき事實である。（第六表参照）

朝鮮

六、中等學校生徒の寄生蟲と一般住民及小學校兒童の寄生蟲との比較
中等學校の寄生蟲検査成績を小學校兒童及一般住民の寄生蟲検査成績に比ぶれば、有卵率は中等學校が一番低い。蛔蟲、有卵者も同じく中等學校に於て最低率である。十二指腸蟲は全國小學校よりも僅かに高率である。(第七表参照)

第七表

第七表

七一